

東京都診療放射線技師会第8地区紹介

第8地区は城南支部（第4地区港区・渋谷区、第11地区目黒区・世田谷区、第15地区神奈川地区）に所属し、品川区・大田区をエリアとした地区委員で構成されています。主な地区委員の所属施設は、東京労災病院・NTT東日本関東病院・昭和大学病院・JR東日本健康推進センター・川崎幸病院・東邦大学医療センター大森病院などから幅広く参加しています。主な活動としては情報交換会（コロナ渦で未開催ですが2025年度以降は開催予定）と地区研修会です。地区研修会は対面での開催を心掛け、研修後に他施設との交流による新たな発見や気づきを得られることはWeb開催では得られないことなので重視しています。また大田区最大のイベント【OTAふれあいフェスタ】には広報委員会や城南支部各地区の委員が一丸となって参加し、骨密度測定・被ばく相談・乳腺ファントムを用いた触診体験を催し、地域住民への啓蒙活動と職業としての診療放射線技師のアピールを積極的に行っています。

品川区・大田区の紹介です。

品川区の区名は東海道の1つ目の宿場町であった品川宿から採用されました。品川駅は世界有数の利用者を誇るターミナル駅ですが、駅の所在地は港区であることを知っている人は少ないかと思います。品川には全長約1.3kmある戸越銀座商店街も有名で、五反田は歓楽街かつITベンチャーやスタートアップ企業の街としての性格をもちます。目黒川は桜のシーズンには多くの人が集まり、桜の花びらで覆われたピンクの水面もとてもきれいです。

大田区は東京23区の総面積の9.6%を占める最も大きな区です。大田区の総面積の約3割を羽田空港が占めています。区西部には高級住宅街として知られている田園調布や山王があり、臨海部や多摩川沿いには京浜工業地帯に含まれる工業都市です。町工場も多く日本を代表する中小企業の街です。住みたくない街上位にランクする蒲田は城南地区を代表する歓楽街で昭和の懐かしさを楽しむこともできます。一方、池上本門寺や洗足池などは歴史と風情も感じられます。大田区は【日本の小さな縮図】とも言われています。

簡単な紹介ではありますが、品川区・大田区の魅力が伝わったでしょうか？

第8地区研修会等で蒲田に来られた際は是非、蒲田の風情・情緒ある歓楽街を楽しんでください。

旨くて安いお店も紹介しますのでご安心ください。



多摩川から見た富士山



城南島から見た上げた旅客機



羽田空港で準備中の旅客機